

# Noriyuki Haraguchi

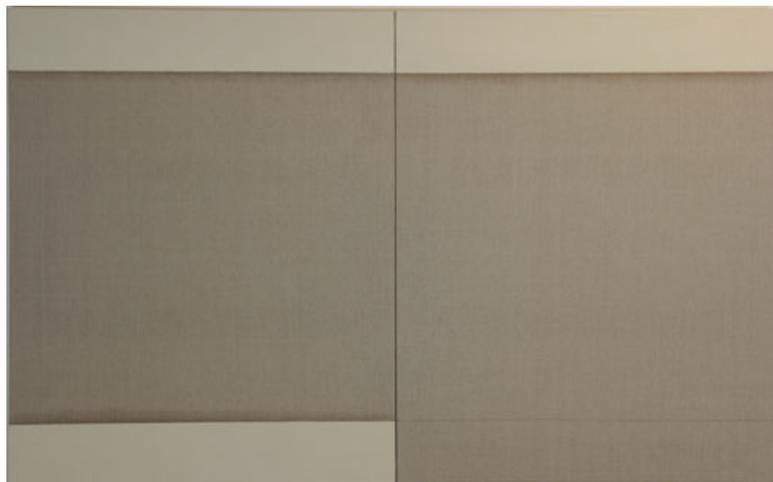
## Works for Kanazawa

15 March to 10 May, 2014

### 原口 典之

ワークス・フォー・カナザワ

2014年3月15日(土)～5月10日(土)



ミヤケファインアートでは「Noriyuki Haraguchi / Works for Kanazawa」展を開催します。

昨年、2013年の夏、作家、原口典之は金沢美術工芸大学ギャラリーで開催された自身の個展の為に4点のキャンバスによる作品と32点のワークス・オン・ペーパーを制作しました。この制作にあたって、まず原口は自身の過去のスケッチやメモを整理し、自身の制作活動を回想することから始めました。

単純な直線の反復や曲線によるコンポジション、初期の戦闘機の作品の設計図を思わせる図形まで、この制作を通して原口は自身の最初期の制作まで遡り、再検証するかのように制作を進めています。

これは2012年にロサンゼルスで開催された「もの派」の回顧展や、それに続いて組織されたニューヨーク近代美術館の「TOKYO1955-70:新しい前衛」展、或いは国際交流基金によって組織された「Re:Quest—1970年代以降の日本現代美術」展など、立て続けに開催された日本現代美術を通観する展覧会への参加に起因しているのかもしれませんが。

原口典之は1946年神奈川県横須賀市生まれ日本大学美術学部美術学科卒業。60年代後半から美術家としての活動をはじめ、1977年、ドイツのカッセルで4年ごとに開催される国際的な美術展、「ドクメンタ6」に初めて日本人作家として選ばれ、廃油を満した巨大な鉄のプールを発表し欧米中心の美術界に衝撃を与えました。続いてパリ市立近代美術館での「第10回パリ青年ビエンナーレ」に参加し、1978年にはデュッセルドルフのGalerie Alfred Schmelaで海外での初個展を成し遂げます。2001年、ミュンヘンのレンバツハハウスにおける個展「NORIYUKI HARAGUCHI」、2007年ハンブルグのクンストハーレにおけるマレーヴィッチへのオマージュ展「Das Schwarze Quadrat. Hommage an Malewitsch」など、大規模な個展で海外で高い評価を受けました。2009年に横浜のBankART1929のStudio NYKで国内では初となる新作を含む大規模な回顧展「Noriyuki Haraguchi: Society and Matter (原口典之 社会と物質)」を開催し、その存在感の大きさを改めて国内に知らしめました。

本展は原口典之による最新作の東京での初めての公開となります。ぜひ、この機会にご高覧くださいようお願いいたします。

展覧会： Noriyuki Haraguchi / Works for Kanazawa  
開催日： 2014年3月15日(土)～5月10日(土)  
開 廊： 12:00～19:00(日曜、月曜、祭日：休廊)  
会 場： ミヤケファインアート  
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-3-2-5F  
問合せ： 03-5646-2355  
info@miyakefineart.com  
担当： 増子 由香

## MIYAKE FINE ART

株式会社ミヤケファインアート

1-3-2 Kiyosumi, 5th Floor, Koto-ku, Tokyo 135-0024 Japan  
135-0024 東京都江東区清澄 1-3-2-5F  
Telephone +81-3-5646-2355 / Facsimile +81-3-5646-2356  
info@miyakefineart.com / www.miyakefineart.com